

大分県立看護科学大学 学生交流プログラム 2011



August21(Sun)-28(Sun),2011

韓国のソウル大学の看護学生との交流しました。
韓国の医療・福祉施設で学んだこと・感想を紹介します。

2011年08月22日(月)

Healthcare System Gangnam Center

カンナムセンターは2003年に設立された、病気治療よりも早期診断や予防に力を入れている医学診断センターです。ナースが主体となって運営しており、マネージメント、広報、企画、受付等ほとんどがナースです。

センター内はとても広く綺麗で、ゆったりとした雰囲気でした。このセンターでは、安い値段で細かい検診ができるため海外からも沢山の方々が来るそうです。韓国で一番大きな内視鏡センターであり、一日に大腸検査50件、胃の検査が100件ほどあるそうで、その多さに驚きました。

また、MRIが38、39階にあり、自分の目の前に鏡があることで、後ろの風景を眺めることができるようになっており、閉所恐怖症の方でもMRIがとれる仕組みになっているそうです。

このセンターでは、ナースが主体となって運営しており、マネージメント、広報、企画もナースが行っており、ナースの活動領域がとても広いと感じると共に、運営していく上で幅広い知識が必要となるのだと感じました。

今回カンナムセンターを見学させて頂き、ナースは専門性を生かした幅広い領域で活動ができることを知り、ナースの可能性を感じる事ができました。



日本にもカンナムセンターのような、ナースが主体となって活動できる場所が増えていくとよいと思いました。

2011年08月23日(火)

Song-pa Public Health Center

ソンパ区の1次保健を担っており、母子保健事業や保健教育、訪問保健事業、健康増進事業、がん、伝染病対策、医薬部などとして機能している。建物は4階に検診センターがあり、市民の健康を考えたつくりになっていた。



2011年08月23日(火)

Asan Medical Center

Asan Medical Center は 400 万平方フィート以上の広大な敷地に建設されています。総病床は 2 6 8 0 床で Asan Medical Center は韓国で最も大きい病院です。平均して 1 日に外来患者は 9 6 0 0 人、緊急搬送患者は 1 9 0 人。年に 57000 回ほどの非常に多くの外科手術が行われています。電子化も進み韓国の医療社会の最先端といわれています。とても大きな病院で驚きました。世界的にも有名で素晴らしい病院だと聞きます。プリセプターがつく期間も 2 か月と長く、看護師を育てることに力を入れているのだなと感じました。



また、夜間専門の看護師もいらっしゃると聞いて驚きました。日中は大学院へ通いながら夜働く方が多いようです。

私は施設見学の中で、質問をしたくても、うまく言葉がまとめられずに戸惑ったことが、多々ありました。日韓の相違点を知るためには、まず自分の国のことについてしっかり理解していなければならないことを再確認しました。しかし、先輩方や友人の意見を聞きながら多くのことを学ぶことができたと思います。良い経験ができてよかったですと感じました。

2011年08月25日(木)

Seoul National University Hospital

SUN 病院は韓国でも大きい病院で、最先端の治療がなされていました。外来には医師の受信時間が少ないのを補うために看護師に相談できる場所もあって、日本にもこのような対応をとってくれたら患者さんも不安が軽くなっていいのではないかと思います。

また、IT が進んでおり、タッチパネルを使用してがんについての知識を学ぶことができる場もあり驚きました。

韓国の素晴らしいと思うところと、日本の素晴らしいなと思うものが合わさればもっとよい看護や医療を提供できるのではないかなと感じました。

